

年頭所感

流通改革の 定着に 向けて

一般社団法人 日本医薬品卸売業連合会
会長

鈴木 賢



明けましておめでとうございます。

皆様には、日頃より日本医薬品卸売業連合会へのご支援、ご指導を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年5月に別所前会長の後任として卸連会長に選出されました。就任にあたり私は3つの旗を掲げました。「流通改革の取組み」、「社会インフラとしての認知度の向上」、そして「日本型医薬品卸ビジネスモデルの追求」です。本年もこれら取組みへの皆様のご協力をお願いいたします。

年頭にあたり、当面の卸連の課題と取組みについて触れたいと思います。

まず何をおいても、流通改革への取組みです。流改懇の緊急提言を受け、「単品単価交渉の励行」、「未妥結・仮納入の解消」、「売差マイナスの解消」に向け業界を挙げ、最重要事項として取り組んでいる最中であります。

昨年は緊急提言実現の年とすべく「単品単価取引の推進」、「取引条件の事前明示と覚書の締結」、「遡及値引による不公平」の是正を

柱に取組みを進めた結果、単品単価取引が本流となりましたことは、これまでの商習慣を改善する大きな第一歩を刻めたと考えています。しかしながら、価格交渉は難航し妥結率は低迷いたしました。緊急提言の実現にはまだ課題を残すこととなっております。公的医療保険制度の下での薬価基準制度は、市場実勢価主義を原則としている以上、価値に見合った適切な価格形成は制度の適切な運営のためには、不可欠であります。

また、公的医療保険制度下でビジネスを行う以上、薬価調査の信頼性を確保し、同制度の公正な運営に資することは我々に課せられた責任だと考えています。

皆様には、引き続き流通改革についてのご理解とともに、改革の定着のための取組みを継続いただくようお願いいたします。

加えて、消費税増税への対応について触れさせていただきます。今年の4月に消費税の税率が引き上げられます。この消費税に関して、いわゆる「損税議論」がありますが、薬価については、消費税相当額が上乘せされているため、医療機関や薬局に「損税」は発生

しません。昨年卸連では、説明用のパンフレットを作成し、各会員構成員企業様へお配りしました。我々全員が、薬価と消費税の関係を正しく理解し、医薬品卸として医療機関や薬局に正しい説明を行っていただくようお願いいたします。

この他にも私たちは、厚生労働省の「医療用医薬品へのバーコード表示の実施要項」に即し、新バーコード表示（製品名、有効期限、製造番号のバーコード表示）の拡大普及によるトレーサビリティの確保とIT化による業務効率化にも注力しています。今後もバーコード表示に関するワーキングチームなどを通じてメーカーと共に検討を続け、拡大普及に尽力したいと考えています。

また、昨年は自然災害による被害を多く受けた年でもありました。冬場の豪雪、台風、竜巻、集中豪雨による土砂災害などにより、人的、物理的被害が多くありました。社会的に防災・減災への関心がより一層高まった一年でした。こういった観点からも、私たち医薬品卸は「社会インフラ」としての存在意義をより高めるべき時期であると認識しています。平常時の安定供給はもちろんのこと、大規模災害発生時やパンデミック発生時など、危機管理流通への対応を今しっかりと行っていかなければならないと考えます。私たち医薬品卸は3年前の東日本大震災と津波による甚大な被害を自ら受けながらも、社会インフラとしての責務を全うしました。これを可能にしたのは、平時から地域の需要・市場を熟知し、地域に密着した活動を行ってきたことやその地域の自治体との協力体制があったためと言えます。このような経験や対応ノウハウを会員構成員各社で共有していくことこそ

が重要と考えます。

社会インフラとして、これに対する投資は私たち医薬品卸各社の企業努力が要請されます。投資のための原資をしっかりと確保していかなければなりません。

また昨年初めて「アジア・パシフィック医薬品流通フォーラム」が日中韓の3カ国が参加して開催されました。その中における講演や卸連・国際委員会のレポートに見るように、日本の医薬品卸は国際的に比較しても独自のビジネスモデルと言えます。毛細血管型流通といわれるように、全国23万軒へ配送を行い、全医療機関・薬局を対象に価格交渉、債権管理・回収を実施しております。さらに日々医薬品の処方元・納入先を訪問し、情報提供を行い、需給情報を把握するなど多機能性を有しています。流通管理も徹底されており、日本では偽造医薬品が流通することもあります。また、先に述べたような危機管理流通も迅速・的確に機能することは既に実証されています。このように世界に誇る「モノ」と「情報」の流通を担う日本型医薬品卸ビジネスモデルを社会・制度の変化に即応しながら、更に磨きをかけ、浸透させていきたいと考えています。

ここに述べた他にも課題は山積しています。皆様方のご協力のもと「流通改革への取り組み」、「社会インフラとしての認知度の向上」、そして「日本型医薬品卸ビジネスモデルの追求」を推進していきたいと考えています。本年も皆様方のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、本年の皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。